

東京都立大学大学院 法学政治学研究科

法学政治学専攻 法律学分野

2025 年度入試（2 月入試）

〔2025 年 2 月 11 日実施〕

問題冊子

試験区分	博士後期課程 一般入試
科目名	外国語（英語）
試験時間	12 時 00 分 ～ 14 時 00 分〔120 分〕

〔配布物〕

問題冊子	1 冊（この冊子 全 6 頁）
答案用紙	1 枚〔右上オレンジ〕
下書用紙	1 枚

【受験上の注意】

- (1)机の上に出しておいてよいものは、受験票・筆記用具・消しゴム・外国語辞書 1 冊(書込みのないもの 1 冊)・時計(アラームの鳴らないもの)だけです。それ以外のものを出しておきたい場合は、手を挙げて監督員に確認してください。
- (2)試験中は、監督員の指示に従ってください。
- (3)解答始めの合図があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- (4)不正行為をおこなった場合は、その時点で受験をとりやめさせ、退室させます。
- (5)問題用紙、答案用紙、下書用紙はいずれも回収します。
- (6)答案用紙には、解答に関係のないことを記入してはいけません。また、答案用紙を切り取ってははいけません。
- (7)問題冊子に不鮮明な箇所があった場合には手を挙げて監督員に知らせてください。
- (8)解答が答案用紙のおもて面に収まらないときは、うら面を使ってかまいませんが、答案用紙の追加はできません。
- (9)試験中に気分が悪くなったり、トイレに行きたくなったりした場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
- (10)解答開始から 30 分経過した後は、受験を放棄して退室することができます。受験を放棄したい場合には、手を挙げて監督員に知らせてください。

問 次の文章は、後述する出典からの抜粋であり、アメリカ民事訴訟法における既判力 (Res judicata) の理論的根拠を説明するものである。下線部①～⑥の文章を日本語に訳しなさい。

著作権の観点から公表していません

出典 : JACK H. FRIEDENTHAL, MARY KAY KANE, ARTHUR R. MILLER, CIVIL PROCEDURE 616-620 (5th ed. 2015)

出題の都合上、原文の一部を省略し脚注を削除した。

【出題趣旨】

博士後期課程を志望する者に関して、法学研究をする上で基本となるべき外国語能力を備え、博士後期課程にふさわしい法学研究を行うための基礎力があるかを問う問題である。